

CITIZEN

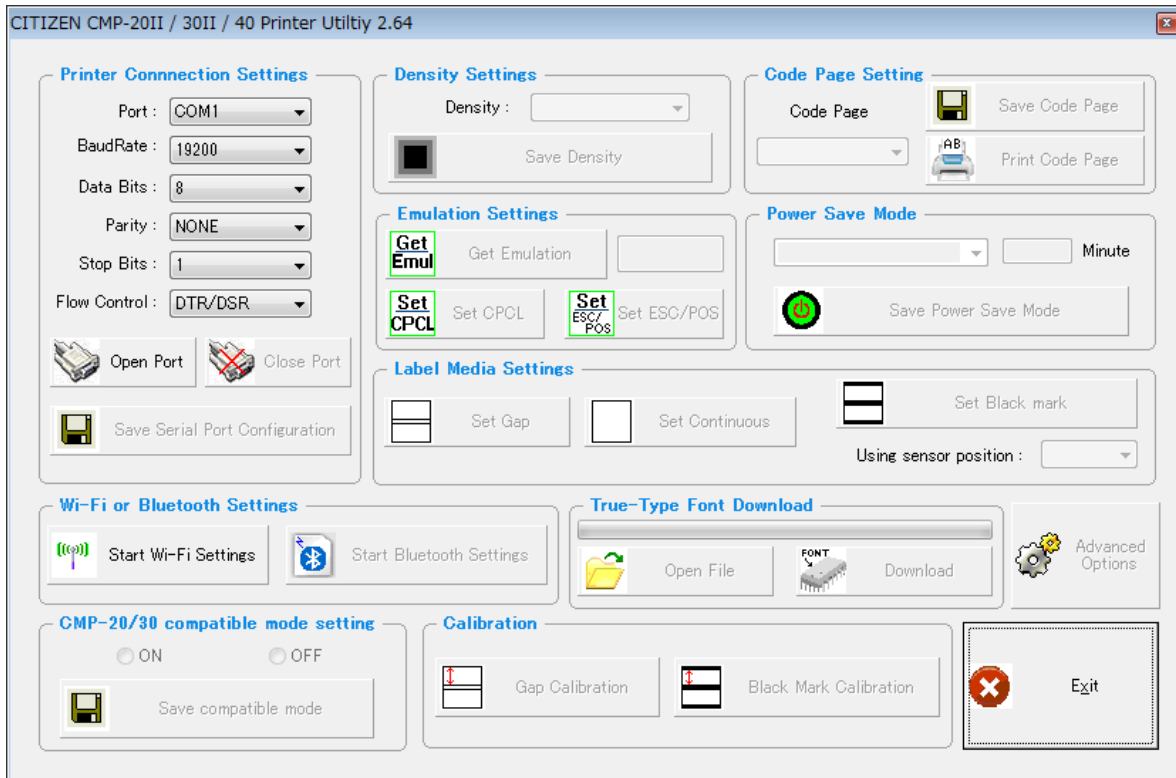
モバイルプリンター CMP-20II/30II

ユーティリティーマニュアル

V2.64

シチズン・システムズ株式会社

1. ユーティリティー立ち上がり画面



この画面では、以下の各種設定を行います。カッコ内は関係するエミュレーションです。

Printer Connection Settings / 通信するポートの設定(共通)

Density Settings / 濃度の設定(ESC/POS)

Code Page Settings / デフォルトコードページの設定(ESC/POS)

Emulation Settings / エミュレーションの設定(共通)

Power Save Mode / 省電力機能の設定(共通)

Label Media Settings / メディアセンサーの設定(CPCL)

WiFi or Bluetooth Settings / Wi-FiまたはBluetoothの設定(共通)

True-Type Font Download / TrueTypeフォントのダウンロード(CPCL)

Advanced Options / 詳細オプション設定(CPCL)

CMP-20/30 compatible mode setting / CMP-20/30タイプ1互換モード設定(ESC/POS)

Calibration / センサー感度調整(CPCL)

を行います。

CPCLの詳細機能(CPCL)とWi-FiまたはBluetooth LANの設定(共通)、詳細オプション設定は別の画面を呼び出します。

注: プリンターと接続した際にエミュレーションがチェックされます。対象でないエミュレーションの

設定は設定できません。

2. Wi-FiとBluetooth以外の設定

2-1 Printer Connection Settings / プリンターとの接続設定

プリンターとの接続に使うポートは、シリアル(COM1 – COM9)かUSBになります。

シリアルポートを選ぶ場合は、プリンターのBaud Rateなどのシリアルポート設定をご確認して設定を合わせてください。通信を始めるにはOpen Portボタンを押します。

プリンターのシリアルポートの設定を変更したい場合は、一旦このユーティリティとプリンターの通信が確立した後に、設定を変更、「Save Serial Port Configuration」ボタンを押してください。

「Close Port」ボタンを押すとプリンターの通信を止めます。

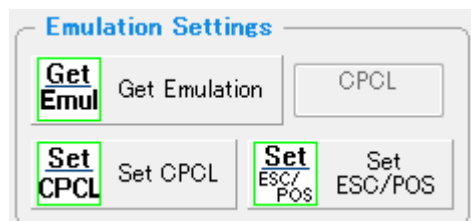
2-2 Density Settings / 濃度設定(ESC/POS)

ESC/POSの場合、印刷の濃度を-1から+3の5段階の中から選択できます。

2-3 Code Page Settings / コードページ(ESC/POS)

ESC/POSの場合、コードページの設定とテスト印字ができます。

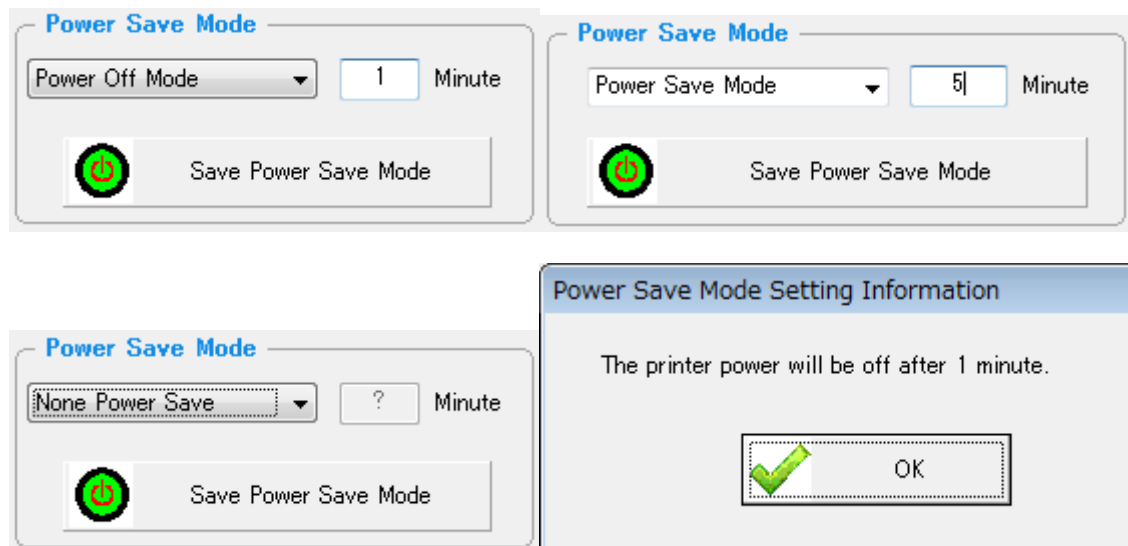
2-4 Emulation Settings / エミュレーション選択(共通)



「Get Emulation」ボタンを押すと現在のエミュレーションが表示されます。
エミュレーションを変更するには「Set CPCL」か「Set ESC/POS」ボタンを押します。これにより、プリンターは電源が切れます。

2-5 Power Save Mode / パワーセーブモード、オートパワーオフモード設定(共通)

省電力機能として「Power Save Mode」と「Power Off Mode」の選択と経過時間の設定ができます。
データ受信のない時間が設定値に到ると選択したモードに入ります。



モード	説明
None Power Save	通常モードです。
Power Off Mode	自動的に電源が切れます。復帰させるには電源を入れてください。
Power Save Mode	省電力のために一部の機能が働いていません。復帰させるにはボタンを押すか、数バイトのダミーデータを送る必要があります。ダミーデータには、印字に影響しないNULLを使うことを推奨します。

2-6 Label Media Settings / メディアセンサーの選択 (CPCL)



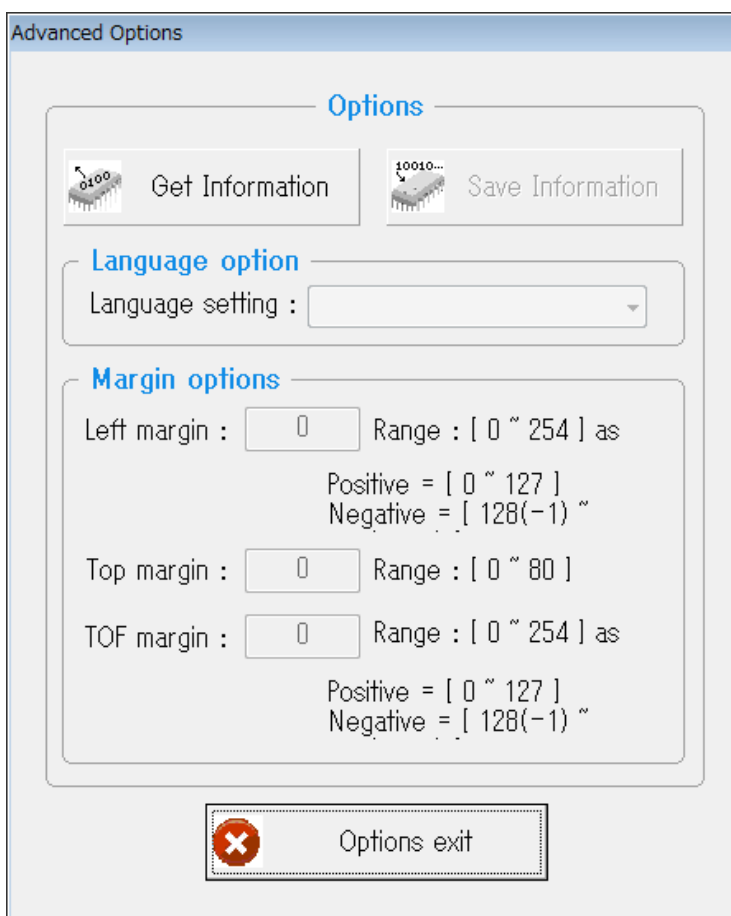
CPCLの場合、ラベル用紙(Set Gap)、またはブラックマーク用紙(Set Blackmark)、連続紙(Set Continuous)が選択できます。

Black markを選んだ場合は、センサー位置も設定します。用紙の裏側にブラックマークがある場合は、Upper、用紙の表側にブラックマークがある場合は、Lowerを選択します。

2-7 詳細オプション設定 / Advanced Options (CPCL)

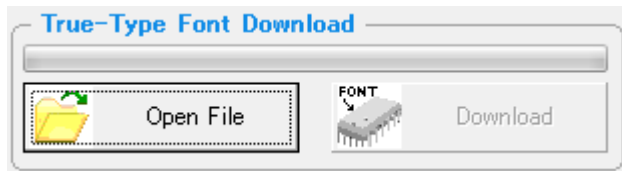


このボタンを押すと、下の画面が出ます。

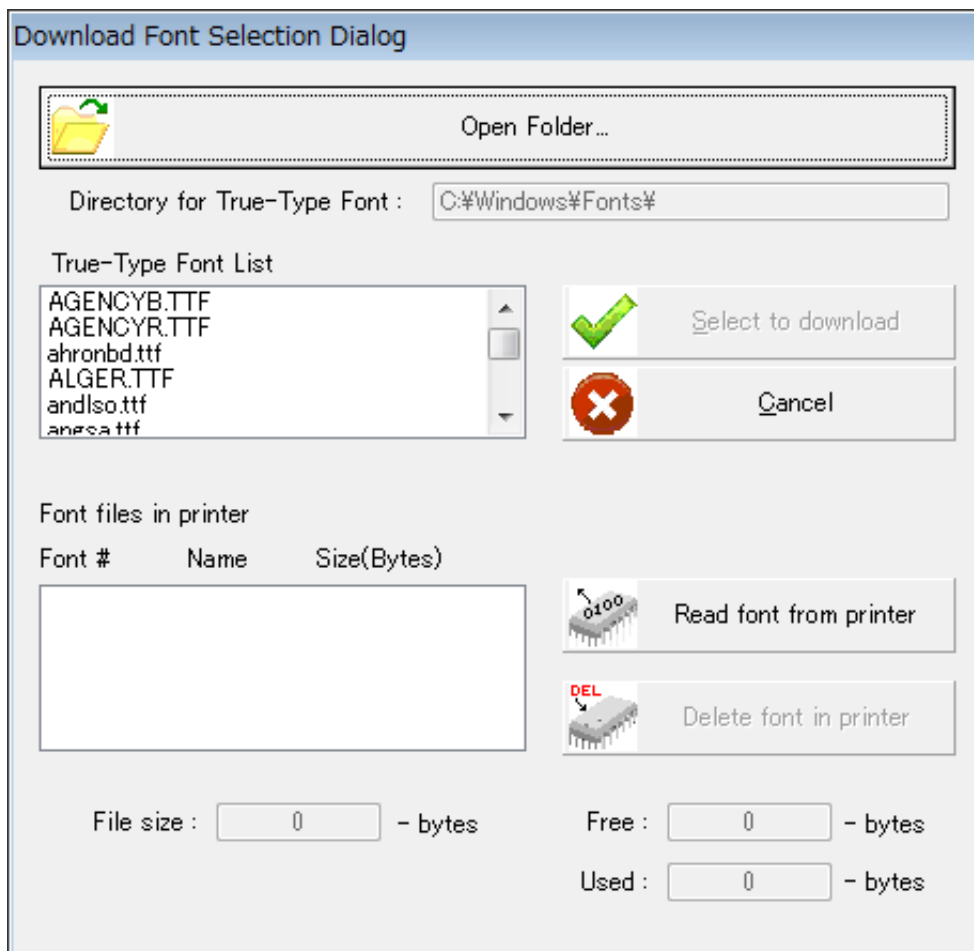


言語設定やラベルの左や上部のマージン、TOFからの印字位置までのマージンの確認と設定ができます。

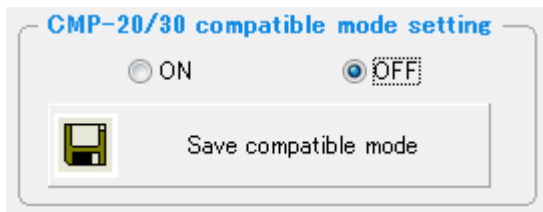
2-8 True-Type Font Download / TrueTypeフォントダウンロード(CPCL)



Open Fileボタンを押すと以下の画面がでます。表示されたTrueTypeフォントを選択します。過去にダウンロードされたTrueTypeフォントの確認や削除もできます。フォントを選択した後に、前の画面に戻ってDownloadのボタンを押すとプリンターに選択したTrueTypeフォントがダウンロードされます。

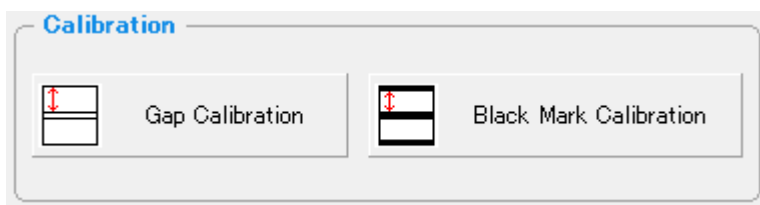


2-9 CMP-20/30 compatible mode setting (ESC/POS)



CMP-20II/30IIをCMP-20/30と同じIDにします。タイプ1用のアプリがタイプ2で動作しない場合、お試しください。（動作の保証はできません。）

2-10 Calibration / センサーレベル調整(CPCL)



ラベルのギャップやブラックマークが正しく認識されずに各フォームの頭から印刷ができない場合は、センサーレベル調整を試してください。実行時の注意については取扱説明書を参照ください。

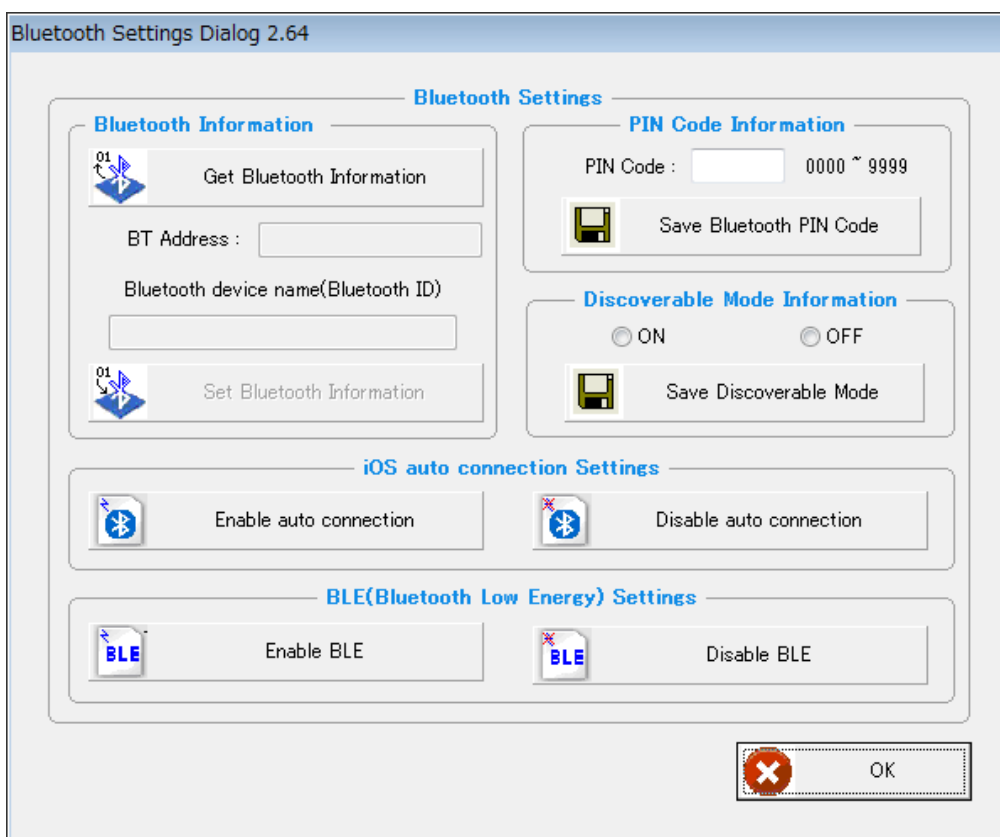
3. Bluetooth インターフェース設定

3-1. 設定画面の呼び出し

トップの画面にてプリンターに接続すると、下の絵のようにBluetoothの設定画面を呼び出す Start Bluetooth Settingsボタンが有効になるので、このボタンを押してください。



すると、下の画面がでてきます。



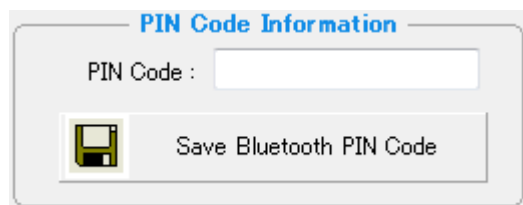
3-2. BDアドレスとデバイス名



各Bluetoothモジュールには12桁のユニークなBDアドレスが割り当てられています。
「Get Bluetooth Information」ボタンを押すとプリンターのBDアドレスが確認できます。

Bluetooth device name (Bluetooth ID)は、端末から検索をかけた際に見つかる名前です。
名前を入力して「Set Bluetooth information」ボタンを押すと変更されますが、ファームウェアのバージョンが古い場合は、動作せず、Not Supportedと表示されます。

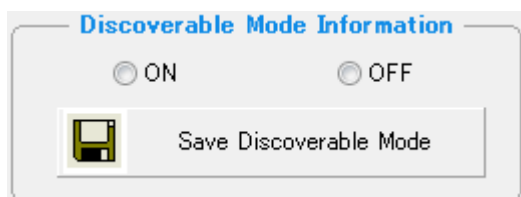
3-3. PIN Code 設定



ホスト側のBluetoothのユーティリティーやその設定によりBluetoothの接続を確立する際にプリンターのPIN Codeの入力が求められることがあります。その際にはプリンターのBluetoothのPIN Codeを入力します。工場出荷時のPIN Code は「0000」です。

PIN Codeを変更する場合は、枠内にデータを入力し「Save Bluetooth PIN Code」ボタンを押します。

3-4. Discoverableモード設定



「Discoverable Mode」がONの場合、プリンターは他のBluetoothデバイス(PDAやスマートフォンなど)から検出が可能です。ここをOFFに設定すると他のデバイスからは発見されなくなります。

3-5. Auto Connection Settings



iOSデバイスとBluetooth接続をする際の再接続機能が有効になっているモデルで、機能が無効にしたい場合、また、有効に戻したい場合、Disable/Enableのボタンを押します。iOS以外のデバイスでBluetoothの通信に問題が出ている場合は、Disableをお試しください。

3-6. BLE(Bluetooth Low Energy) Settings



この機能は、今のところ、使用の予定が無いので、**Disable**でお使いください。

4. 無線LAN(Wi-Fi)設定

基本的な設定の流れは、

設定画面呼び出し→通信ポートの設定→現在の設定の読み込み→設定変更→設定の保存となります。

4-1 Wi-Fi設定画面の呼び出し

ユーティリティの立ち上がり画面で「Start Wi-Fi Settings」ボタンを押します。

(Wi-Fi以外の設定のために、Open Portされている場合は、まず、Close Portしてください。)



すると、下のWiFi設定画面が出ます。

Wi-Fi Settings Dialog 2.61

Port and Wi-Fi Information

Port Information

Port: BaudRate: Open Port

Data Bits: Parity: Close Port

Stop Bits: Flow Control:

Wi-Fi Information

MAC address: Get Wi-Fi Information Save Wi-Fi Information

SSID:

IP: TCP PORT: Exit

NetMask:

Gateway:

DNS:

Wi-Fi Mode: WEP Key:

Wi-Fi Channel:

Wi-Fi Encryption:

Wi-Fi Authentication:

Using KEY ID:

KEY ID 1:

KEY ID 2:

KEY ID 3:

KEY ID 4:

Progress:

WPA Authentication

WPA Authentication: WPA Encryption:

WPA Key:

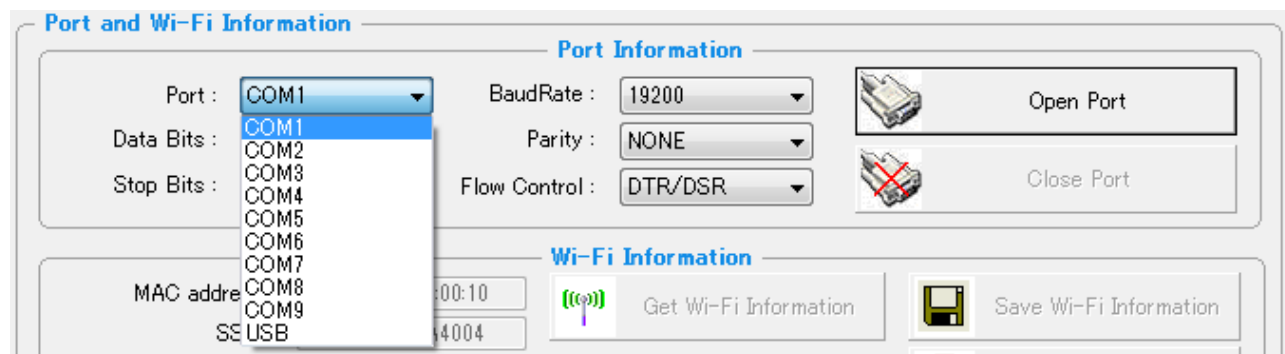
WPA Key is a write-only. The input range is 8 to 63 ASCII or 64 hex characters

Enterprise Settings

4-2 プリンターとの通信ポート設定 (Wi-Fi設定変更のための通信をするポートの設定)

次にプリンターと通信するポートの設定をします。

プリンターと接続するポートをシリアル(COM1-9)、USBから選んでください。



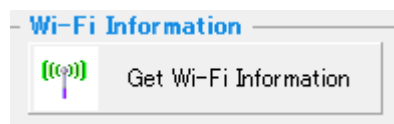
シリアルポートを選ぶ場合は、プリンターのBaud Rateなどのシリアルポート設定をご確認し、ユーティリティ上のポート設定をプリンターのポート設定に合わせてください。



Open Portボタンを押すと、プリンターと通信をします。

4-3 現在の設定の読み込み

プリンターとの通信ポートがオープンされると、Get Wi-Fi Informationボタンが有効になりますので、このボタンを押して、現在のWi-Fiの設定をプリンターから読み込みます。



Read Completeというメッセージが出たら正しく現在の設定情報が読み込まれています。



なお、WPSのボタンも通信ポートオープンにより有効になっています。

初めてアクセスポイントに接続する場合に、細かい設定項目の入力を省きたい場合は、このボタンを押したうえでアクセスポイント側のWPS機能を有効にしてください。アクセスポイントとWi-Fi通信するために必要な設定が自動的に行われ、そのままWi-Fi通信できる状態になります。

プリンターがFactory Settingsの状態ではWi-Fi設定を読み込むと下の絵のようになります。

Wi-Fi Settings Dialog 2.61

Port and Wi-Fi Information

Port Information

Port : USB BaudRate : 19200
 Data Bits : 8 Parity : NONE
 Stop Bits : 1 Flow Control : DTR/DSR

Open Port
 Close Port

Wi-Fi Information

MAC address : 84:72:07:38:00:10
 SSID : CMP_0010
 IP : 192 . 168 . 100 . 1
 NetMask : 255 . 255 . 255 . 0
 Gateway : 192 . 168 . 100 . 1
 DNS : 164 . 123 . 101 . 2

Get Wi-Fi Information
 Save Wi-Fi Information
 Exit
 Reset (Factory Settings)
 WPS
 LPD Queue Name : lpd1

Wi-Fi 5GHz Information

Country Name : USA Wi-Fi Country Channel : 36

Wi-Fi Band : 5GHz
 Wi-Fi Mode : SoftAP
 Wi-Fi Channel : 1
 Wi-Fi Encryption : WPA
 Wi-Fi Authentication : Both
 Using KEY ID : KEY ID 1

WEP Key
 WEP Key is a write-only.
 KEY ID 1 : HEX
 KEY ID 2 : HEX
 KEY ID 3 : HEX
 KEY ID 4 : HEX

Progress :

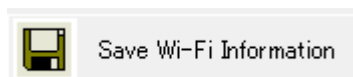
WPA Authentication

WPA Authentication : WPA-PSK WPA Encryption : TKIP
 WPA Key : *****
 WPA Key is a write-only. The input range is 8 to 63 ASCII or 64 hex characters

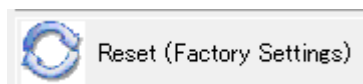
Enterprise Settings

4-4. 設定変更と保存および初期化

表示されたWi-Fiの設定を変更し、「Save Wi-Fi Information」ボタンを押すと、変更された無線LANの設定がプリンターに保存されます。



Wi-Fiの設定を工場出荷時に戻す場合は、Reset (Factory Setting)ボタンを押します。



4-5. 各Wi-Fi設定項目

この画面で、入力、選択する項目をそれぞれ説明します。

注：無効な設定項目の組合せは、選択できないようになっていることを了解ください。

SSID	接続するアクセスポイントと同じIDに合わせます。
IP	固定IPの場合、割り当てるIPアドレスを入力します。
Net Mask	通常は、255.255.255.0となります。
Gateway	アクセスポイントのIPアドレスを入力します。
DNS	DNSサーバーを使う場合、そのアドレスを入力します。
TCP PORT	印刷に使うポート番号で、9100以外を使う場合は、変更します。
DHCP Settings	DHCPでIPアドレスを割り振る場合は、有効にします。(注1)
LPD Enable	印刷方式としてLPDを使用する場合は、有効にします。
LPD Queue Name	LPDのキューとして使用する名前を入力します。
Country Name	使用できる5GHzのチャンネルが国により違うので国の設定をします。
Wi-Fi Country Channel	使用する5GHzのチャンネルを選択
Wi-Fi Band	2.4GHzと5GHzから選択
Wi-Fi Mode	Infrastructure / Adhoc / SoftAP から選択(注2)
Wi-Fi Channel	2.4GHzのチャンネルで、1-14から選択
Wi-Fi Encryption	暗号モードで、No WEP64、WEP128、WPA、802.1xから選択
Wi-Fi Authentication	認証モードで、None、Open System、Shared Key、Bothから選択
Using KEY ID	WEP用KEY IDの番号を1から4から選択 =>対応するKEY ID欄に入力
WPA Authentication	WPA選択時のWPA Keyを入力(注3)

注1

DHCP Settingを有効にすると、DHCPサーバーからIPアドレスを割り振られる設定になります。通常はDHCPを無効にして固定IPアドレスで使うことをお勧めします。

DHCPサーバーからIPアドレスを入手するタイミングは、電源ON時とカバークローズ時で、IPアドレスが設定できれば設定内容を印刷し、失敗すればブザーが鳴ります。

注2

Adhocの動作は不安定なところがあるので、使用はお勧めしません。

SoftAP:プリンターがアクセスポイントとなり、ホストとの間で1対1の通信を行う機能です。

SoftAPでは、プリンターのSSIDは、CMP-xxxx (xxxxは、Macアドレスの下4桁)となります。ホストからSoftAPモードのプリンターを検索してCMP-xxxxを選ぶと、ホストには192.168.100.1というIPアドレスが割り振られます。プリンターのIPアドレスは、192.168.100.10で固定です。

注3

強固なセキュリティとしてWPA PSK(TKIP) とWPA2 PSK(AES) をサポートしています。

Wi-Fi EncryptionでWPAを選んだ場合、WPA/WPA2のどちらを使うか選び、さらにWPAキーをここで入力します。

4-6. Enterprise Settings

Wi-Fi Encryption にて、802.1xを選択するとEnterprise Settingsボタン押せるようになります。



この機能を使用するためには、Radiusサーバーが必要になります。

 A screenshot of the "Enterprise Settings" dialog box. The title bar says "Enterprise Settings". Inside, there are two dropdown menus: "Enterprise Security" and "WPA Type". The "Enterprise Security" dropdown is open, showing options: "None", "PEAP", "TLS", and "TTLS". Below these are two empty text input fields. At the bottom, there are two buttons: "Accept" with a green checkmark icon and "Cancel" with a red X icon.